

第五十七回農工祭

原発事故から四年半。

里山再生に向けて……。

福島県

露地原木椎茸農家の写真展

期間 十一月十四日～十五日（午後四時まで）

会場 大学院連合農学研究科管理研究棟

四階第2会議室

※同会場に於いて十五日十三時～シンポジウム開催

●シンポジウム表題：

「福島県の露地原木椎茸生産の現状と里山の再生」

2015年11月15日 13時より16時 東京農工大学 大学院
連合農学研究科管理研究棟 4F第二会議室
(府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学部キャンパス)

13時より

1) 「福島県二本松市東和地区里山の放射性セシウム汚染の現状」

戸田浩人氏 東京農工大大学院農学研究院 教授

2) 露地原木椎茸栽培農家の報告(1)

「事故から現在までの現状や取り組みの報告」

坪井哲蔵氏 福島県原木椎茸被害者の会 会員

3) 露地原木椎茸栽培農家の報告(2)

「事故から現在までの現状や取り組み及びチェルノブイリ視察報告」

目黒一朗氏 福島県原木椎茸被害者の会 会員

4) 「二本松周辺の原木椎茸生産農家の社会科学的な調査報告」

千年篤氏 東京農工大学大学院農学研究院 教授

5) 「ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会が行っている里山再生事業等の運動の現状と課題」

大野達弘氏 NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会 副理事長



休憩

14時15分から14時30分まで

14時30分より

5) 「福島県の里山の放射性セシウム除染技術開発と今後の展開」

金子信博氏 横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授

6) 「各報告のまとめ」

横山正氏 東京農工大学大学院農学研究院 教授

15時より

7) 総合討議(15時~16時)

司会：千年篤氏 (同上)

8) 終了挨拶 16時



(主催) 文部科学省特別経費：東京農工大学「大学固有の生物資源を用いた放射性元素除去技術、バイオ肥料・植物保護技術開発(東京農工大学福島農業復興支援バイオ肥料プロジェクト<http://www.tuat.ac.jp/~biof-pro/index.html>)」